



# 「地域とともにある学校」 ～コミュニティ・スクールのあり方～



## 1. どうして今、コミュニティ・スクールが必要なのか？

### 子どもたちが生きる未来が不透明

少子高齢化、人口減少により、社会の激しい変化は避けられない

グローバル化、情報化等により、変化が激しく予測困難な未来

- 子ども達や学校を取り巻く様々な問題
- 学校だけでは対応が難しい現状、学校の業務の見直しが急務
- 地域力(共生意識・参加意識・帰属意識)の低下、地域のつながり・支え合いの希薄化

### 「地域とともにある学校」が必要

⇒ コミュニティ・スクールは「地域とともにある学校」づくりの有効なツール

## 2. 「地域とともにある学校」コミュニティ・スクールの現状について

◇ コミュニティ・スクールとは？ → 「学校運営協議会」を設置している学校

◇ 「学校運営協議会」とは？

→ 法律に基づき、一定の権限と責任をもち、保護者・地域の声を学校運営に生かし、「地域とともにある学校」づくりの核となる組織

◇ 学校運営協議会の役割は？

→ ・ 校長が作成する 学校運営の基本方針を承認する (必須)

・ 学校運営等について、校長または教育委員会に意見を述べ



◇ 「地域とともにある学校」コミュニティ・スクールとはどんな学校か？

→ 分かりやすく言うと

皆さんの声が反映される学校です！

皆さんが教育活動に参画できる学校です！

地域ぐるみで子ども達を育てる学校です！